

自治 温故創新
考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 4月号
令和5年4月10日
西東京市立田無第三中学校

今年も 自治・温故創新

校長 東山 信彦

1 教育目標

国際化、情報化、科学技術の進展する中であって平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神に満ちた人間の育成をめざし、教育目標を定める。

- ・よく考え進んで実行する人間になろう
- ・思いやりのある心豊かな人間になろう
- ・丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間になろう

重点目標 自治

- ・考える
- ・思いやる
- ・やりぬく

2 開校60周年を経て、新たな伝統のスタートとして

温故創新（おんこそうしん）をめざす。

3 目指す学校像

教職員・生徒・保護者・地域一体（チーム三中）となって、「温かく、活気溢れる三中」を創る。

- (1) 温かく活気に溢れる学校
- (2) 自ら学び、自らを高める生徒
- (3) 生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員



校章

温かな日差しのもと、満を持して令和5年度がスタートしました。

4月6日には始業式が行われました、そこでは、昨年「温故創新」の一年を経験した2・3年生に今年も「温故創新」で、伝統を受け継ぎつつ、新しい三中を創っていこうと話しました。

まず「創る」は、「作る」と違い、何もないところからつくるという意味があることを説明しました。

加えて、「創」は「ばんそうこう（絆創膏）の「創」であり傷の意味をもつこと、だから、新しい何もないところから作り上げることは、傷を負う痛みを伴うものであること、しかし、学校生活の中で何かを創り上げた喜びは、その痛みをはるかに凌駕することを伝えました。そして、今年度、その喜びをぜひ味わってほしい、そのために先生方は全力でサポートすると話を結びました。

7日には入学式が行われました。121名の新入生を迎え、これで全ての三中メンバーが揃いました。式辞では上記「温故創新」と、『自治』『考える・思いやる・やりぬく』を、三中新生活のキーワードとして披露しました。「温故創新」の場面では、昨年度の3年生が、卒業制作として残してくれた「創新」



の壁文字が役立ちました。『自治』『考える・思いやる・やりぬく』の場面では、緞帳にある校章の刺繍を見てもらうことで、三枚の若葉が、「考える・思いやる・やりぬく」を意味していることを伝えることができました。

今年も「温かく・活気あふれる三中」を、「温故創新」「自治」「考える・思いやる・やりぬく」でめざします。よろしくお願いいたします。

